

# 「生命のがん教育」を実施しました

(令和2年度2学期分)

令和2年度2学期は28校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

## ◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

## ◆授業風景



(宇治市立西大久保小学校)



(舞鶴市立城北中学校)



(京都府立東舞鶴高等学校浮島分校)

## ◎小学校 (6校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
10/28 (水)	宇治市立西大久保小学校	6	宇治徳洲会病院 放射線治療科部長 立入 誠司
10/29 (木)	井手町立多賀小学校	5	京都山城総合医療センター がん診療部長 小池 浩志
11/5 (木)	久御山町立御牧小学校	6	京都岡本記念病院 消化器内科部長 河端 秀明
11/17 (火)	京都府立聾学校 小学部	3~6	京都民医連中央病院 副院長 川島 市郎
12/7 (月)	亀岡市立東別院小学校	4~6	三菱京都病院 院長補佐 吉岡 亮
12/21 (月)	亀岡市立詳徳小学校	6	三菱京都病院 院長補佐 吉岡 亮

## <児童の感想>

- ◇ 人々に感謝の気持ちをもったり、家族に「“がん”の検診した？」などを聞いたり、自分が、体にいい食事など調べて、作っていこうと思っています。
- ◇ がんは早く見つけると治る可能性が高くなることが分かりました。また、たばこを吸う人と吸わない人で全然見た目も違ってびっくりしました。お父さんやお母さんに検診に行っているか聞いてみようと思いました。自分は絶対に大人になったらたばこを吸わないようにしようと思いました。心臓はがんにかかりにくいことが分かりました。
- ◇ これからは、自分の生活を見直して規則正しい生活を送れるようにならなりたいです。また大人になったら必ずがん検診を受けようと思いました。そして家族のためにも、自分の夢に向かって一生懸命がんばりたいし、一生懸命生きたいなと思いました。
- ◇ 二人の先生とも詳しく気をつけることなど説明してくれたので、分かりやすかったです。詳しくたばこの煙は吸ったらダメ！など、検査はすぐ受けた方がいい！とか教えてもらったので、バランスの良いご飯や好き嫌いをせずにしていこうと思いました。

- ◇ まだ、私の身近にいる人でがんになった人はいないけれど、がんになって悩んでいる人がいたら助けたりしたいと思いました。がん検診は大切なので色んな人にすすめたりして、自分も大人になったら、人間ドッグなどを受けてみたいなと思いました。
- ◇ 毎年検査をしている人の方が、「がん」を見つけやすいから、自分が大人になったら、受けたいと思いました。

◎中学校（11校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
9/23（水）	南丹市立桜が丘中学校	1～3	中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
9/28（月）	舞鶴市立城北中学校	3	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 鎌田 和浩
10/13（火）	京丹後市立丹後中学校	3	京都府丹後保健所 所長 重見 博子
10/13（火）	京丹後市立弥栄中学校	3	京都府丹後保健所 所長 重見 博子
10/20（火）	亀岡市立詳徳中学校	3	
10/23（金）	京都市立高野中学校	1	京都府立医科大学附属病院 内分泌・乳腺外科 森田 翠
11/16（月）	宮津市立宮津中学校	2・3	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 鎌田 和浩
11/19（木）	京都市立蜂ヶ岡中学校	2	京都市立病院 呼吸器内科 太田 登博
12/4（金）	舞鶴市立和田中学校	3	舞鶴医療センター 外科系診療部長 内藤 慶
12/11（金）	綾部市立豊里中学校	1～3	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 鎌田 和浩
12/15（火）	相楽東部広域連合立和束中学校	3	京都山城総合医療センター がん診療部長 小池 浩志

<生徒の感想>

- ◇ “がん”などといった事を深く考えた事がなかったけど、この学習を通して考える事ができました。自分になるかは分かりませんがならないようにしていきたいです。
- ◇ ガンは生活習慣の影響もあると分かり、食生活の見直しと睡眠時間をしっかりとるようにしようと思いました。ガンはまったく治らない病気ではないと知れたので大人になったら検診を受けようと思いました。
- ◇ 自分が「がん」にならないようにすることはもちろん、身近な人がもし「がん」になってしまったら、その人の気持ちに寄り添いながら行動していきたいと思いました。
- ◇ 「がん」を気にして生きていませんでした。今日実際体験されてのことやどう予防するかを聞いて、もっと身近に感じるべきものだということが分かりました。「私はまだ先のこと・・・」と、どこかで思っていました。今から食生活などを見直そうと思いました。また、私の大切な人を失わないために、自分の事以外でも「がん」と向き合いたいと思いました。
- ◇ 僕はがんになったら友達が離れていくと思っていたけど、逆に友達が助けてくれると聞いて安心しました。やっぱり友達を持つべき存在だと改めて感じました。
- ◇ 私は、将来、副作用があまりないがんの薬を作る薬剤師になるのが夢です。がんの人の苦しい思いをこの学習を通して分かりました。なので、この学習を生かして、将来に向かっていきたいです。
- ◇ 自分は、“がん”に無縁だと思っていて、若いから大丈夫だと思っていたけど、お話を聞いて、自分にも身近なことだから日々の生活に気をつけようと思いました。
- ◇ 今日分かったことを身近な人に伝えることが大事だなと思いました。自分も今日学んだことを覚えておいて、大人になったときにも検診を定期的に受けたいなと思いました。
- ◇ 私も今まで身近な人が「がん」になると思ったことがなかった。自分達は大丈夫だと思わず、日頃から家族や友達みんなと協力して生きていきたいです。
- ◇ 学んだことは、「がん」は治る病気だということ。そして身近な病気だということ。大事な人、自分も

病気になってほしくないので、学んだことをいかしたいです。

- ◇ がんになったとしても1人だと思わずに、色々な人に相談などをして、乗り越えられたらいいなあと思いました。

◎高等学校（11校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
9/30（水）	綾部市立綾部高等学校	1	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 鎌田 和浩
9/30（水）	綾部市立綾部高等学校東分校	1	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 鎌田 和浩
10/2（金）	京都府立京都八幡高等学校北キャンパス	1	京都岡本記念病院 消化器内科主任部長 宮田 正年
10/21（水）	京都府立農芸高等学校	2	中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
10/21（水）	京都市立紫野高等学校	1	京都鞍馬口医療センター 副院長 柴 禄郎
10/23（金）	京都府立京都八幡高等学校南キャンパス	1	京都岡本記念病院 消化器内科副部長 人見 美鈴
10/28（水）	京都府立乙訓高等学校	1	済生会京都府病院 副院長 堀 義幸
11/11（水）	京都府立東舞鶴高等学校浮島分校	3・4	舞鶴医療センター 外科系診療部長 内藤 慶
11/19（木）	京都府立伏見工業高等学校	1	京都第一赤十字病院 臨床腫瘍部部长 内匠 千恵子
11/20（金）	京都府立大江高等学校	3	福知山市民病院 副診療部長 崔 聡仁
12/2（水）	京都府立丹後緑風高等学校久美浜学舎	1	京都府立医科大学附属北部医療センター 外科医長 越野 勝博

<生徒の感想>

- ◇ 早期発見をするために定期的な検査がとても大切だと思ったので、是非してみようと思いました。自分だけでなく、周りの人も気にかけていきたいです。
- ◇ 未成年なのでまだ飲酒をしたり喫煙をしたりはしたことがないけど、成人してからも出来るだけ飲酒したり喫煙したりしないようにしたいです。「がん」の治療は進んでいるけど出来るだけならないための予防を出来るように頑張りたいです。
- ◇ 生活習慣が乱れて“がん”になりやすいことが分かった。ちゃんとした生活と、適度な運動が必要ってことが分かった。周りの人の支えが力になることが分かったし、大切な人の為に頑張れるのは共感できた。
- ◇ いつも通りから近くにいる大切な人が気付いてくれることは嬉しいと思うから、自分も変化があれば、気づいてあげたいと思いました。定期検診とがん検診は違うと今回初めて知ったので、ちゃんと受けたいと思いました。
- ◇ がん細胞という言葉は知っていたがどのようにしてできるかは知らなかった。文字だけでは理解することが難しかったが、言葉や図、絵などがあったため分かりやすかった。たばこは肺がんだけでなく食道がんなどのリスクも高めることに驚いた。
- ◇ 40歳からの人間ドック、家族にも人間ドックを勧めようと思います。将来のお嫁さんにも“がん”で死んでほしくないで口を酸っぱくして言います。
- ◇ 自分も大人になったら定期的ながん検診へいこうと思ったし、家族にはがん検診を教えようと思いました。もし「がん」になってしまったとしてもできるだけ早く見つけたいなと思いました。
- ◇ 「がん」は決して他人事ではないことに気付きました。
- ◇ がんについて学んで、2人に1人の確率ということを知って、がんは全く自分には関係ないと思うのは違うかなと思いました。身近な人になる可能性もあると考えたら、怖いなと思うし、他人事ではないと感じました。今日の授業で、もしも家族とか近い人がなったら私は、できることを探してその人を支えてあげたいと思いました。
- ◇ 保健の授業でも習ったことがあって、飲酒や喫煙などが、“がん”の原因となるから、大人になっても喫煙はせず、飲酒も週に1回決めた量だけというルールを守ろうと改めて思いました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL : 075-414-4766 電子メール : [kentai@pref.kyoto.lg.jp](mailto:kentai@pref.kyoto.lg.jp)